

子どもの権利の周知及び学習機会の確保について（部会報告資料）

1 本日の協議内容について

第六次子どもプラン武蔵野を策定するにあたり、武蔵野市子どもの権利条例に規定された内容を市、育ち学ぶ施設等の役割を踏まえ、施策を推進していく必要がある。合わせて、推進地域協議会に専門部会として設置した「子どもの権利部会」において、主に次の事項について意見・助言をいただくことを想定している。

(1)条例の理解・普及啓発

(2)子どもの権利に関する学習機会の確保

(3)子どもの意見表明・参加の仕組みづくり

(4)子どもの権利侵害の救済

(5)その他必要と認める事項

上記のうち、本日は(1)及び(2)についてご議論いただきたい。

2 第六期長期計画・調整計画（案）における位置づけ

子ども・教育

基本施策 1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり

(1)子どもの権利を保障する取組みの推進

子どもの最善の利益を尊重する社会の実現に向け、令和 5 (2023)年 4 月に施行された武蔵野市子どもの権利条例に基づき、子どものみならず、保護者や市民、育ち学ぶ施設の関係者等に条例及び子どもの権利の周知啓発を行っていく。さらに、いじめ防止対策の充実、子どもの居場所づくりの推進、子どもの意見表明や参加の機会の確保などの取組みを、令和 6 (2024)年度に策定する第六次子どもプラン武蔵野に位置付け推進する。

また、子どもの権利を守るとともに、子どもの権利が侵害された場合の救済を行うため、子どもの権利擁護委員を新たに設置する。

3 子どもの権利の周知啓発について

(1)現在の状況

- ・市報 4 月 15 日号において、武蔵野市子どもの権利条例の広報を行った。また市報 11 月 15 日号において、再度広報を行うこととしている。
- ・条例の周知啓発のため、概要を記載した「こどものけんりってなにあに」（第 6 号）を春に市内小中高校等に配布し、8 月には「子どもの権利条例逐条解説」を学校等関係機関に送付した。

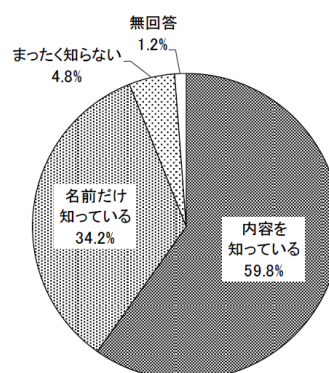
- ・現在、条例の概要を記載したリーフレット（かんたん版・くわしい版）及び動画を制作している。
- ・また、条例が子どもにとってより身近なものとなるよう、他自治体の取組みを参考に、キャラクターの制作を進めており、現在3案の投票及びキャラクターの名前を募集している（10月17日現在、総投票数41件）。
- ・10月23日から11月7日まで、市役所1階のロビー展示を行っている。
- ・令和5年度武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（速報版）の結果は次のとおりとなっている。
 - ・子どもの権利の認知度について。「内容を知っている」は小学6年生59.8%、中学3年生32.9%、小学生保護者37.6%、中学生保護者34.8%、小学校教職員82.5%、中学校教職員82.5%となっている。また、「名前だけ知っている」は小学6年生34.2%、中学3年生56.4%、小学生保護者55.7%、中学生保護者53.5%、小学校教職員16.8%、中学校教職員17.6%となっている。
 - ・「武蔵野市の教育に関する施策で、知っているものはありますか」について、「武蔵野市子どもの権利条例」と回答したのは、小学生保護者46.5%、中学生保護者42.5%となっている。

<令和5年度武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（速報版）結果 一部抜粋>

【小学校6年生】

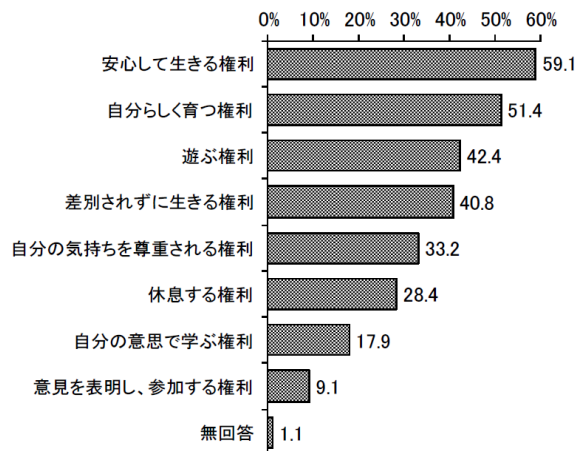
Q13 あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

項 目	実数	構成比(%)
内容を知っている	497	59.8
名前だけ知っている	284	34.2
まったく知らない	40	4.8
無回答	10	1.2
調査数（%ベース）	831	100.0



Q14 武蔵野市が特に大切にしている8つの「子どもの権利」のうち、自分にとって大切だと思うものがありますか？大切だと思うものを3つまで選んでください。

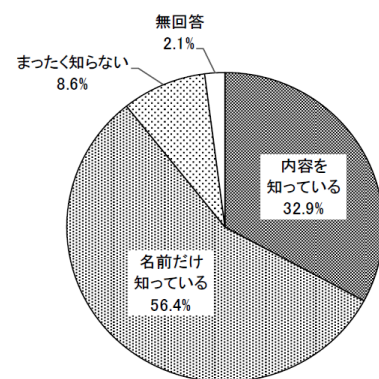
項 目	実数	構成比(%)
安心して生きる権利	491	59.1
自分らしく育つ権利	427	51.4
遊ぶ権利	352	42.4
差別されずに生きる権利	339	40.8
自分の気持ちを尊重される権利	276	33.2
休息する権利	236	28.4
自分の意思で学ぶ権利	149	17.9
意見を表明し、参加する権利	76	9.1
無回答	9	1.1
調査数（%ベース）	831	100.0



【中学校3年生】

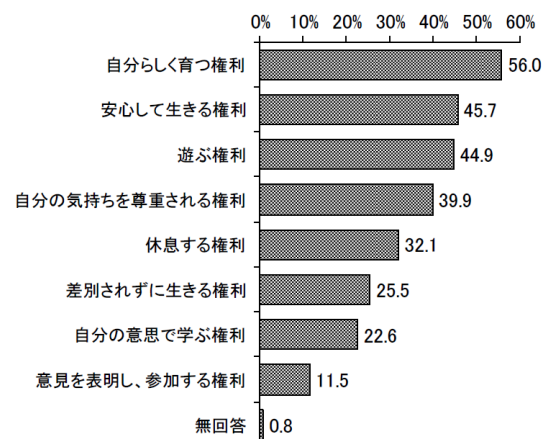
Q13 あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

項 目	実数	構成比(%)
内容を知っている	80	32.9
名前だけ知っている	137	56.4
まったく知らない	21	8.6
無回答	5	2.1
調査数（%ベース）	243	100.0



Q14 武蔵野市が特に大切にしている8つの「子どもの権利」のうち、自分にとって大切だと思うものがありますか？大切だと思うものを3つまで選んでください。

項 目	実数	構成比(%)
自分らしく育つ権利	136	56.0
安心して生きる権利	111	45.7
遊ぶ権利	109	44.9
自分の気持ちを尊重される権利	97	39.9
休息する権利	78	32.1
差別されずに生きる権利	62	25.5
自分の意思で学ぶ権利	55	22.6
意見を表明し、参加する権利	28	11.5
無回答	2	0.8
調査数（%ベース）	243	100.0



【保護者】

Q12. 武蔵野市の教育に関する施策で、知っているものはありますか？知っているものをすべて選んでください。

項 目	小学生実数	構成比(%)	中学生実数	構成比(%)
スクールカウンセラーによる相談	543	83.0	335	83.8
就学援助制度（学用品費、給食費の援助）	434	66.4	218	54.5
武蔵野市子どもの権利条例	304	46.5	170	42.5
広報誌「きょういく武蔵野」の発行	242	37.0	151	37.8
学校司書（令和4年度まで「図書館サポーター」）の配置	234	35.8	142	35.5
武蔵野市民科の実施	219	33.5	130	32.5
開かれた学校づくり協議会	215	32.9	146	36.5
小学校への市講師の配置による教員の多忙化緩和	132	20.2	62	15.5
家庭と子どもの支援員による不登校対応	122	18.7	74	18.5
中学校への部活動指導員の配置	98	15.0	161	40.3
デジタル・シティズンシップ教育の推進	96	14.7	38	9.5
無回答	42	6.4	34	8.5
調査数	654	100.0	400	100.0

Q13. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

項 目	小学生実数	構成比(%)	中学生実数	構成比(%)
内容を知っている	246	37.6	139	34.8
名前だけ知っている	364	55.7	214	53.5
全く知らない	41	6.3	39	9.8
無回答	3	0.5	8	2.0
調査数	654	100.0	400	100.0

【教職員】

Q14. あなたは「子どもの権利」を知っていますか？

項 目	全 体		小 学 校		中 学 校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
内容を知っている	258	82.4	216	82.4	42	82.4
名前だけ知っている	53	16.9	44	16.8	9	17.6
全く知らない	-	-	-	-	-	-
無回答	2	0.6	2	0.8	-	-
調査数	313	100.0	262	100.0	51	100.0

・他自治体では子どもの権利の啓発として、以下の取組みを行っている。

自治体名	取組み内容
小金井市	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発品（クリアファイル、付箋、三つ折りリーフレット、巾着袋、ペン、シール） ・機関紙「子どもオンブズパーソン通信」（公立私立全学校児童・生徒へ配布） ・オンブズパーソン開設記念イベント （施設見学会、「オンブズからの挑戦状 ―公衆電話をさがせ！―」） ・その他（市報、プレスリリース、関係団体等への周知）
西東京市	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙「ほっとルーム通信」 ・啓発品（三つ折りリーフレット、相談 PR カード、ワッペン、ポスター、腕章、のぼり旗）

4 子どもの権利に関する学習の機会

(1)現在の状況について

- ・令和5年度武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（速報版）の結果は次のとおりとなっている。
- ・学校で「もっと進めてほしいこと」や「取り組んでほしいこと」について、「人権教育の推進（子どもの権利に関する理解促進、人権課題の理解など）」と回答したのは、小学生保護者 30.7%、中学生保護者 30.5%、小学校教職員 38.9%、中学校教職員 23.5%となっている。
- ・「子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、あなた（保護者）が学校に協力できるものはありますか」について、「人権教育の推進（子どもの権利に関する理解促進、人権課題の理解など）」と回答したのは、小学生保護者 7.6%、中学生保護者 9.3%となっている。
- ・「子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、保護者、地域、専門家の協力を得たい取組み」について、「人権教育の推進（子どもの権利に関する理解促進、人権課題の理解など）」と回答したのは、小学校教職員 30.9%、中学校教職員 17.6%となっている。
- ・教職員に対する「子どもに「子どもの権利」を教えるにあたって、どのような難しさを感じているか」について、次の回答となっている。
 - ・「適切な教材がない」：小学校教職員 32.1%、中学校教職員 29.4%
 - ・「子どもに関心を持ってもらうのが難しい」：小学校教職員 40.1%、中学校教職員・31.4%
 - ・「子どもの権利を教える時間がない」：小学校教職員 39.7%、中学校教職員 49.0%
 - ・「子どもの権利を教える具体的な方法がわからない」：小学校教職員 31.3%、中学校教職員 31.4%

＜令和５年度武蔵野市子どもの学習・生活に関する調査（速報版）結果 一部抜粋＞

【保護者】

Ｑ９．学校で「もっと進めてほしいこと」や「取り組んでほしいこと」はどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生実数	構成比(%)	中学生実数	構成比(%)
生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）	412	63.0	236	59.0
子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わり協力したりする学びの充実	411	62.8	236	59.0
働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）	368	56.3	223	55.8
外国語教育の充実（留学生との交流などコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力向上など）	355	54.3	213	53.3
体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）	341	52.1	185	46.3
学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）	318	48.6	203	50.8
次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）	295	45.1	182	45.5
多様性を生かした学び（学級会や生徒会活動における話し合いを通じた合意形成など）	288	44.0	141	35.3
デジタル・リテラシー教育の推進（生成ＡＩ（Ｃｈａｔ ＧＰＴ等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、ＳＮＳでのコミュニケーションのあり方など）	279	42.7	165	41.3
健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育の推進、生活習慣の改善など）	272	41.6	146	36.5
子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）	274	41.9	176	44.0
理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携など）	256	39.1	128	32.0
地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）	256	39.1	131	32.8
不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、相談員・関係機関やＮＰＯとの連携など）	255	39.0	172	43.0
教員の専門性向上（教員が研究会等への参加することの補助や支援）	253	38.7	143	35.8
開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）	227	34.7	121	30.3
読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイディアによる学校図書館活性化など）	220	33.6	87	21.8
特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインに基づく学習指導、特別支援教室の充実など）	202	30.9	102	25.5
人権教育の推進（子どもの権利に関する理解の促進、人権課題の理解など）	201	30.7	122	30.5
特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、ＩＣＴの活用、指導の専門性の向上など）	193	29.5	121	30.3
切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、進学先との連携など）	173	26.5	97	24.3
市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）	153	23.4	99	24.8
無回答	12	1.8	11	2.8
調査数	654	100.0	400	100.0

Ｑ１１．Ｑ９で挙げたもののうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、あなたが学校に協力できるものはありますか？

項 目	小学生実数	構成比(%)	中学生実数	構成比(%)
子どもの興味・関心等に応じた学びとさまざまな人々と関わり協力したりする学びの充実	184	28.1	100	25.0
読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイディアによる学校図書館活性化など）	125	19.1	51	12.8
健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育の推進、生活習慣の改善など）	125	19.1	68	17.0
開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）	116	17.7	73	18.3
地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）	100	15.3	56	14.0
子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）	98	15.0	55	13.8
生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）	80	12.2	44	11.0
体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）	78	11.9	50	12.5
学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）	77	11.8	48	12.0
多様性を生かした学び（学級会や生徒会活動における話し合いを通じた合意形成など）	74	11.3	33	8.3
働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）	72	11.0	58	14.5
不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、相談員・関係機関やＮＰＯとの連携など）	66	10.1	45	11.3
外国語教育の充実（留学生との交流などコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力向上など）	63	9.6	35	8.8
市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）	55	8.4	37	9.3
人権教育の推進（子どもの権利に関する理解の促進、人権課題の理解など）	50	7.6	37	9.3
デジタル・リテラシー教育の推進（生成ＡＩ（Ｃｈａｔ ＧＰＴ等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、ＳＮＳでのコミュニケーションのあり方など）	49	7.5	23	5.8
特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインに基づく学習指導、特別支援教室の充実など）	44	6.7	28	7.0
特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、ＩＣＴの活用、指導の専門性の向上など）	42	6.4	19	4.8
教員の専門性向上（教員が研究会等への参加することの補助や支援）	40	6.1	22	5.5
切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、進学先との連携など）	39	6.0	19	4.8
理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携など）	38	5.8	30	7.5
次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）	38	5.8	23	5.8
無回答	252	38.5	178	44.5
調査数	654	100.0	400	100.0

【教職員】

Q 9. 今後、学校教育で「もっとやっていくとよい」と思うのはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	全体		小学校		中学校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
(ア) 生涯に渡る学びの基盤となる資質・能力の育成						
学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）	190	60.7	157	59.9	33	64.7
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（指導の個別化、学習の個性化、学びの自己調整、クラスメイトに限らず異学年や地域の人々との協力など）	177	56.5	156	59.5	21	41.2
読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイデアによる学校図書館活性化など）	92	29.4	79	30.2	13	25.5
健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育、生活習慣の改善など）	125	39.9	109	41.6	16	31.4
(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり						
子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）	133	42.5	117	44.7	16	31.4
多様性を生かした学び（学級活動や児童会・生徒会における話し合いを通じた合意形成など）	203	64.9	174	66.4	29	56.9
市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）	87	27.8	73	27.9	14	27.5
(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実						
特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインにもとづく学習指導、特別支援教室の充実など）	201	64.2	177	67.6	24	47.1
特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）	140	44.7	117	44.7	23	45.1
不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、SCやSSWなど関係機関、NPOとの連携など）	179	57.2	144	55.0	35	68.6
(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり						
人権教育の推進（子どもの権利や人権課題に関する理解の促進など）	114	36.4	102	38.9	12	23.5
生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）	189	60.4	156	59.5	33	64.7
切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、幼保小の連携、小中の連携など）	147	47.0	123	46.9	24	47.1
(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進						
理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携、STEAM教育など）	83	26.5	72	27.5	11	21.6
体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）	139	44.4	122	46.6	17	33.3
外国語教育の充実（留学生との交流などのコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力の向上など）	83	26.5	67	25.6	16	31.4
デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（ChatGPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSでのコミュニケーションのあり方など）	153	48.9	126	48.1	27	52.9
(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成						
働き方改革の推進（教員を支える人員体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）	258	82.4	214	81.7	44	86.3
教員の専門性の向上（研究会等への参加費補助、管理職との対話によるキャリアデザインづくりなど）	157	50.2	132	50.4	25	49.0
次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）	129	41.2	102	38.9	27	52.9
(キ) 社会に開かれた教育課程の推進						
開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）	105	33.5	91	34.7	14	27.5
地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）	166	53.0	145	55.3	21	41.2
無回答	5	1.6	3	1.1	2	3.9
調査数	313	100.0	262	100.0	51	100.0

Q11. Q9で掲げた取り組みのうち、子どもたちにとってよりよい教育活動を推進するため、保護者、地域、専門家の協力を得たい取り組みはどれですか？あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	全 体		小 学 校		中 学 校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
(ア) 生涯に渡る学びの基盤となる資質・能力の育成						
学習の基盤となる資質・能力の育成（言語能力や情報活用能力の育成など）	119	38.0	104	39.7	15	29.4
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（指導の個別化、学習の個性化、学びの自己調整、クラスメイトに限らず異学年や地域の人々との協力など）	138	44.1	122	46.6	16	31.4
読書活動の推進（中央図書館との連携、子どものアイデアによる学校図書館活性化など）	99	31.6	87	33.2	12	23.5
健康教育・体力向上の取組充実（日常的な運動習慣づくり、食育、生活習慣の改善など）	133	42.5	113	43.1	20	39.2
(イ) 子どもの社会参画を推進する場としての学校づくり						
子どもの参加や意見表明（校則の見直し、学校行事への子どもの参画など）	80	25.6	74	28.2	6	11.8
多様性を生かした学び（学級活動や児童会・生徒会における話し合いを通じた合意形成など）	109	34.8	97	37.0	12	23.5
市民性の育成（武蔵野市民科の推進、キャリア教育、専門家や他地域との交流など）	136	43.5	114	43.5	22	43.1
(ウ) 一人一人の子どもに応じた指導・支援の充実						
特別支援教育の推進（ユニバーサルデザインにもとづく学習指導、特別支援教室の充実など）	134	42.8	118	45.0	16	31.4
特別支援学級の取組の充実（交流共同学習推進、ICTの活用、指導の専門性の向上など）	104	33.2	88	33.6	16	31.4
不登校児童生徒への支援（子どもの居場所づくり、SCやSSWなど関係機関、NPOとの連携など）	176	56.2	144	55.0	32	62.7
(エ) 子どもが安心できる居場所としての学校づくり						
人権教育の推進（子どもの権利や人権課題に関する理解の促進など）	90	28.8	81	30.9	9	17.6
生徒指導の充実（子どもが主体的に考え、行動する力の育成、いじめの未然防止・早期発見や対応、自己肯定感の向上など）	118	37.7	98	37.4	20	39.2
切れ目のない相談支援（教育相談の充実、帰国外国人教育相談、幼保小の連携、小中の連携など）	140	44.7	118	45.0	22	43.1
(オ) 今日的な教育課題への対応・取り組みの推進						
理数教育の推進（大学・企業・科学館との連携、STEAM教育など）	76	24.3	67	25.6	9	17.6
体験活動の充実（長期宿泊体験活動、文化芸術体験、オーケストラや美術館鑑賞の推進など）	149	47.6	132	50.4	17	33.3
外国語教育の充実（留学生との交流などのコミュニケーションの場づくり、教員の英語指導力の向上など）	89	28.4	77	29.4	12	23.5
デジタル・シティズンシップ教育の推進（生成AI（ChatGPT等）の利用も見据えた創造的な学習者用コンピュータの活用、SNSでのコミュニケーションのあり方など）	133	42.5	111	42.4	22	43.1
(カ) (ア)～(オ)の取り組みを実現する学校運営と人材育成						
働き方改革の推進（教員を支える人体制の確保や業務改善、部活動のあり方の検討など）	194	62.0	160	61.1	34	66.7
教員の専門性の向上（研究会等への参加費補助、管理職との対話によるキャリアデザインづくりなど）	101	32.3	87	33.2	14	27.5
次代の教育を担う人材の確保（ティーチングアシスタントをはじめとした大学との連携など）	108	34.5	88	33.6	20	39.2
(キ) 社会に開かれた教育課程の推進						
開かれた学校づくり協議会の機能強化（学校・家庭・地域が目標を共有し、互いの強みを生かして協力していくことなど）	130	41.5	112	42.7	18	35.3
地域や関係機関と連携した教育の推進（地域の人材や環境を活用した教育の充実など）	169	54.0	145	55.3	24	47.1
無回答	8	2.6	5	1.9	3	5.9
調査数	313	100.0	262	100.0	51	100.0

Q15. 子どもに「子どもの権利」を教えるにあたって、どのような難しさを感じていますか？

項 目	全 体		小 学 校		中 学 校	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
適切な教材がない	99	31.6	84	32.1	15	29.4
子どもに関心を持ってもらうのが難しい	121	38.7	105	40.1	16	31.4
子どもの権利について教える時間がない	129	41.2	104	39.7	25	49.0
子どもの権利を教える具体的な方法が分からない	98	31.3	82	31.3	16	31.4
自分自身が子どもの権利をよく理解できていない	46	14.7	40	15.3	6	11.8
難しさを感じていない	27	8.6	18	6.9	9	17.6
その他	19	6.1	15	5.7	4	7.8
無回答	4	1.3	4	1.5	-	-
調査数	313	100.0	262	100.0	51	100.0

- ・西東京市では、子どもの権利擁護委員による出張授業を実施。副読本「みんなで学ぼう西東京市子ども条例」を使用し、小学6年生の各クラスに授業を行っている。また、例えば小学5年生全クラスと保護者にむけた道徳授業地区公開講座を行うほか、中学生対象の授業を行っている。
- ・子どもの権利に関する学習について、市（子ども子育て支援課）ではこれまで以下の取組みを行ってきた。
 - ・庁内説明会（各課係長・課長補佐対象）
 - ・教育支援センター研修
 - ・保育園園長会研修
 - ・どこでもミーティング（10月～11月）
- ・また、庁内各課の取組み状況については、次の(3)の取組みに加え、子どもプラン推進地域協議会_報告資料4（子どもの権利の学習のほか、子ども意見表明・参加等含む）のとおりになっている。

(3)子どもの権利の周知啓発や学習の機会の確保の各課取組み状況

①子ども教育合同部会における各課の取組み状況

取組み事項	内容	所管課
懇談会	7月に子どもの権利条例をテーマに小中学校校長と教育委員の懇談会を実施。	教育企画課
生徒との意見交換	教育長が第三中学校（7/7）、第四中学校（10/24）で中学校生活や子どもの権利などについて、生徒（学級委員）と意見交換を実施した。	教育企画課
研修の実施	いじめの防止について、7、8月に研修を実施した。各校でも子どもの権利条例に基づいたいじめの防止をお願いしている。	指導課
保護者への啓発	保護者に対しての啓発については、学校内部などでの啓発を実施している。	指導課
授業での活動	条例そのものの理解については、学校の社会科や道徳の授業で取り上げることで促進している。学校行事をどのように実施したいかを子どもたちから意見聴取し、それを実現している。武蔵野市民科において、子どもたちがまちのなかで課題を見つけるために、実際に地域にフィールドワークし、地域の方と連携したり意見を提案したりしている。	指導課

②今後の予定

取組み事項	内容	所管課
きょういく武蔵野	12月に発行する「きょういく武蔵野」一面において、学校や教育委員会での子どもの主体的な取り組みについて掲載する予定	教育企画課
バリアフリーネットワーク会議内の情報共有	バリアフリーネットワーク会議を年1回実施している。各施設管理者が今後を考えていくにあたって、当事者の意見を取り入れていくことの重要性について議題にあがっている。子どもの意見を今後取り入れていくにあたって、子どもの権利条例は大事な視点であるので、会議内でも情報提供する。	まちづくり推進課
研修の実施	教員に対して、様々な機会に子どもの権利についての研修を実施している。今年度は、生活指導主事に対し、子どもの権利を踏まえた今後の生徒指導のあり方についての研修を実施する。	指導課

③課題

事項	内容	所管課
周知啓発の継続	周知・学習にあたっての課題として、教員の異動があるため、現在は子どもの権利についての理解が高い状況であっても、継続的に周知啓発を実施する必要がある点が挙げられる。	指導課

【参考】子どもの意見聴取について（次回議題予定）

各課から子どもの意見聴取についての発言もあったため、次のとおりまとめています。子どもの意見聴取については、次回の議題とする予定です。

取組み状況	内容	所管課
男女平等推進計画案へ子どもの意見反映	男女平等推進計画策定にむけて、子どもの意見を集められるように手法を検討したい。	市民活動推進課男女平等推進センター
公園緑地新設の際のヒアリング等	公園緑地を新設する際などに、子どもたちから意見聴取している。手法としては、現地でのヒアリング、投票、アンケートボックスの設置などがある。学校の授業内でのワークショップの実施や、学校側からの依頼で講義を実施することもある。今後の予定としては、武蔵野プレイス前の公園で、子どもむけのワークショップを予定している。	緑のまち推進課
アンケート調査の実施	来年度、生涯学習計画のアンケート調査の実施を予定しているので、子どもの意見を集められるような手法を検討していきたい。	生涯学習スポーツ課
教育フォーラム	1月に実施する教育フォーラムでは、子どもの参画や、子どもの意見表明についても取り上げる。	指導課

<課題>

事項	内容	所管課
アンケートの過多	子どもからの意見聴取の機会が多いことについてありがたいと感じているが、教員達は子どもに対しての多くのアンケートへ対応することについて非常に苦勞している。意見聴取の手法については検討してもらいたい。	指導課

5 第2回子どもの権利部会 委員からの意見

- ・道徳や総合的な学習の時間、社会科など、教育課程の中で教科横断的に子どもの権利を学んでいく機会は考えられるが、教育課程を検討する段階の中で、学校の方針としてどのように進めていくのか、教育委員会が武蔵野市の教育の学校現場でどんなふうに進めていくのかという方向性を示しながら、首長部局とともに戦略を立てながら進めていくことが、とても大切である。
- ・子どもの権利条例を知り、教育の現場や家庭、地域などの場で子どもの権利に基づいた実践をすることで、それぞれの場でどういった良い影響があるか、見える形で示されると、それぞれの立場が、より子どもの権利のことを意識するのでないか。
- ・子どもの権利を知ることと、理解すること、活用することに関しては、それぞれにハードルがあると考え。まずは知り、今度はそれを自分のものとしてどんなふうを活用していけばいいのか理解し、実践で活用していく。それぞれの段階がうまく進んでいくような普及啓発をしていくことができると良いのでは。
- ・制定した立場である行政からの周知啓発は、非常に意味のあることだが、いろいろな視点や立場からの話を聞くことで、より理解が深まっていくところもあると思う。学校教育や保育園など、それぞれの立場が子どもの権利について周知できるようにメニューを多様に用意するなど、伝える側と受ける側のマッチング的な取り組みもご検討いただきたい。

6 今後の子どもの権利の周知及び学習機会の確保のあり方について

今後の子どもの権利の周知のあり方（市民・育ち学ぶ施設関係者・保護者等への周知方法、啓発品の種類、効果的な啓発手法など）また学習の機会の確保のあり方（子どもの発達段階に応じた学習方法、学習機会の確保など）について、ご意見・ご助言ください。